

平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大塚家具

コード番号 8186

URL <http://www.idc-otsuka.jp/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大塚 久美子

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 杉谷 仁司 (TEL) 03-5530-5522

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の業績 (平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	42,012	△0.2	△190	—	△39	—	△71	—
26年12月期第3四半期	42,086	1.1	△138	—	△4	—	483	△3.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年12月期第3四半期	△3.86		—					
26年12月期第3四半期	26.09		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	45,715	34,178	74.8	1,843.92
26年12月期	46,710	34,665	74.2	1,870.19

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 34,178百万円 26年12月期 34,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年12月期	—	0.00	—		
27年12月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,856	2.4	110	—	230	—	90	△81.0	4.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	19,400,000 株	26年12月期	19,400,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	864,434 株	26年12月期	864,434 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	18,535,566 株	26年12月期3Q	18,535,568 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
(4) 事業等のリスク .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
4. 補足情報 .....	6
(1) 商品分類別売上高 .....	6
(2) 店舗、コントラクトその他売上高 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間は、個人消費においては総じて見れば底堅い動きとなり、景気は一部に鈍い動きが見られるものの緩やかな回復基調となりました。

このような環境のもと、当社では、第1四半期におきましては、積極的な広告宣伝と店舗における受付・接客の強化を行いました。施策の効果は想定を下回り、さらに当社の大株主より株主提案が出されたことに関連する報道が過熱したことで、全店的に買い控えが生じ、減収減益となりました。第2四半期におきましては、4月中旬より約3週間に亘り開催した大感謝フェアが想定以上の好評を博したことで、第2四半期は大幅な増収増益となり、第1四半期の売上の不足を解消しました。

第2四半期以降、当社では中期経営計画に則ったビジネスモデルの再構築に向け、営業・マーケティング活動を行いました。4月より路面店、大型店を中心に順次実施した店舗リニューアルでは、第一弾として受付スペースを縮小し、消費者が気軽に立ち寄り、自由に見られるオープンな店舗へと切り替えました。7月には、企業価値向上に向け、新ブランドビジョンを発表し、高度な専門性を発揮しながら、顧客と共に考え、共に新しい暮らしを創造することを目指す新たなビジョンに基づき、「企業ブランドロゴ」、「企業スローガン」も一新しました。また、新ブランドビジョンを具現化するためのアクションプランの一環として、第一弾の受付周りのリニューアルに続き、新宿ショールームを中心に、顧客単独で見てもわかりやすいライフスタイル提案型の店舗へと第二弾の売り場リニューアルに着手しました。また、買い替え促進を企図したりユース事業のトライアル企画として「のりかえ特割キャンペーン」を実施しました。

一方、店舗における新たな営業体制の定着は未だ途上にあり、第3四半期累計期間の売上高は420億12百万円(前年同期比0.2%減)となりました。主な内訳は、店舗が408億57百万円(前年同期比0.8%減)、コントラクトが11億2百万円(前年同期比27.0%増)であります。売上総利益は、226億51百万円(前年同期比2.3%減)、販売費及び一般管理費は228億41百万円(前年同期比2.1%減)、営業損失は1億90百万円(前年同期は1億38百万円の損失)、経常損失は39百万円(前年同期は4百万円の損失)、四半期純損失は71百万円(前年同期は4億83百万円の利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### ① 資産

当第3四半期会計期間末における総資産は457億15百万円となり、前事業年度末と比較して9億95百万円(2.1%)の減少となりました。

これは主に、現金及び預金の減少18億57百万円、受取手形及び売掛金の増加3億93百万円、投資有価証券の増加2億98百万円によるものです。

#### ② 負債

当第3四半期会計期間末における負債は115億37百万円となり、前事業年度末と比較して5億8百万円(4.2%)の減少となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金の減少3億89百万円、未払法人税等の減少6億74百万円、賞与引当金の増加2億53百万円、その他流動負債の増加3億29百万円によるものです。

#### ③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産は341億78百万円となり、前事業年度末と比較して4億86百万円(1.4%)の減少となりました。

これは、四半期純損失による利益剰余金の減少71百万円、配当による利益剰余金の減少7億41百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億26百万円によるものです。

自己資本比率は前事業年度末と比較して0.6ポイント上昇し74.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の業績予想につきましては、現時点では変更していません。業績の総合的な状況を踏まえ、業績予想の変更が必要となる場合には改めてお知らせいたします。

(4) 事業等のリスク

当第3四半期累計期間において、前事業年度の決算短信に記載した「事業等のリスク」から重要な変更があった事項は、以下のとおりです。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものです。

また、以下の見出しに付された項目番号は、前事業年度の決算短信における「添付資料 1. 経営成績 (4) 事業等のリスク」の項目番号に対応したものです。

⑦厚生年金基金の解散によるリスク

当社の加入する東京都家具厚生年金基金(代行型総合基金)は、平成26年9月22日開催の代議員会において特例解散が決議されました。解散に伴い発生する損失に備えるため、概算見積り額5億7百万円を厚生年金基金解散損失引当金として平成26年12月期に計上しておりますが、金額の確定は同基金の清算業務終了時点となるため最終的な当社負担額は変動する可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布されたことに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算(ただし、平成28年1月1日以降解消されるものに限る)に使用した法定実効税率は、従来の35.6%から、回収又は支払が見込まれる期間が平成28年1月1日から平成28年12月31日までのものは33.1%、平成29年1月1日以降のものについては32.3%にそれぞれ変更されております。

その結果、繰延税金負債の金額(繰延税金資産の金額を控除した金額)が110,996千円減少し、法人税等調整額(借方)が19,688千円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,519,560	9,661,582
受取手形及び売掛金	2,485,594	2,879,565
商品	15,009,581	15,068,430
その他	1,299,106	1,482,303
貸倒引当金	△1,560	△1,810
流動資産合計	30,312,282	29,090,071
固定資産		
有形固定資産	2,844,545	2,807,255
無形固定資産	194,338	172,566
投資その他の資産		
投資有価証券	7,153,415	7,452,069
差入保証金	6,019,727	5,997,674
その他	187,870	197,437
貸倒引当金	△1,600	△1,600
投資その他の資産合計	13,359,414	13,645,581
固定資産合計	16,398,298	16,625,403
資産合計	46,710,580	45,715,475
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,923,256	3,533,259
未払法人税等	674,522	—
賞与引当金	84,849	337,993
販売促進引当金	32,311	38,448
その他	4,803,162	5,132,167
流動負債合計	9,518,102	9,041,869
固定負債		
役員退職慰労引当金	480,879	484,264
厚生年金基金解散損失引当金	507,106	507,106
資産除去債務	340,854	344,685
その他	1,198,627	1,159,428
固定負債合計	2,527,468	2,495,484
負債合計	12,045,570	11,537,354
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,080,000	1,080,000
資本剰余金	3,690,470	3,690,470
利益剰余金	27,991,004	27,178,056
自己株式	△800,876	△800,876
株主資本合計	31,960,597	31,147,650
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,704,412	3,030,470
評価・換算差額等合計	2,704,412	3,030,470
純資産合計	34,665,010	34,178,120
負債純資産合計	46,710,580	45,715,475

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	42,086,661	42,012,501
売上原価	18,893,060	19,361,092
売上総利益	23,193,601	22,651,409
販売費及び一般管理費	23,331,792	22,841,776
営業損失(△)	△138,190	△190,366
営業外収益		
受取利息	8	3
受取配当金	73,794	44,392
保険解約返戻金	2,868	36,476
保険配当金	49,608	56,850
その他	17,150	14,957
営業外収益合計	143,430	152,681
営業外費用		
固定資産除却損	551	361
支払保証料	394	415
保証金支払利息	1,330	814
その他	7,497	100
営業外費用合計	9,773	1,692
経常損失(△)	△4,534	△39,378
特別利益		
投資有価証券売却益	1,406,618	—
特別利益合計	1,406,618	—
特別損失		
減損損失	91,899	7,921
賃貸借契約解約損	1,500	—
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	507,106	—
特別損失合計	600,505	7,921
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	801,578	△47,299
法人税、住民税及び事業税	624,432	23,552
法人税等調整額	△306,512	672
法人税等合計	317,920	24,225
四半期純利益又は四半期純損失(△)	483,657	△71,524

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社の報告セグメントは、家具販売事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 商品分類別売上高

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	前年同期比 (%)
	金額(千円)	金額(千円)	
家具			
収納家具	860,376	802,705	93.3
和家具	162,161	142,182	87.7
応接	9,624,618	10,356,809	107.6
リビングボード	2,187,223	2,444,539	111.8
学習・事務	2,097,474	2,079,371	99.1
ダイニング	8,361,761	8,382,062	100.2
ジュータン・カーテン	3,385,797	3,397,458	100.3
寝具	11,172,498	10,249,729	91.7
電気・住器	1,514,240	1,615,814	106.7
単品	1,248,719	1,002,455	80.3
リトグラフ・絵画	17,625	37,759	214.2
その他	1,409,895	1,457,344	103.4
売上高	42,042,392	41,968,232	99.8
不動産賃貸収入	44,269	44,269	100.0
合計	42,086,661	42,012,501	99.8

(2) 店舗、コントラクトその他売上高

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	前年同期比 (%)
	金額(千円)	金額(千円)	
店舗	41,169,449	40,857,217	99.2
コントラクト	868,077	1,102,871	127.0
その他	49,134	52,412	106.7
合計	42,086,661	42,012,501	99.8